

第 6 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 5 年 9 月 28 日 (木) 午後 3 時～午後 4 時
会 場	北区役所 303 会議室
出席委員	菊地委員、阿部委員、前田委員、恩田委員、佐久間委員、清水委員、小熊委員、横山委員、川島委員
欠席委員	佐藤委員
事務局 関係課	阿部建設課長、本田北出張所長、 地域総務課（中川課長補佐、菊地係長、神田副主査）
会議要旨	<p>●ハザードマップの見方などの防災講習（講師：地域総務課 神田） 総合ハザードマップ、北区河川別ハザードマップを通じて、北区の状況や日頃の備えについて研究した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定雨量の詳細について ・ 避難行動を各自でどう判断すべきか などの意見交換あり <p>●今後の部会の日程調整について</p> <p>10 月：福島潟及び新井郷川の治水事業について（県新潟地域振興局）</p> <p>11 月：長岡震災アーカイブセンターきおくみらいへの視察研修 →本会議日以外で視察するため、日程調整を行った。</p> <p>12 月以降はワークショップ形式で意見交換しながら事業詳細の決定を目指す。</p> <p>今後の流れについて委員から了解をいただいた。</p>

第 6 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 5 年 9 月 28 日 (木) 午後 2 時 50 分～午後 3 時 40 分
会場	北区役所 301 会議室
出席委員	清水部会長、遠藤副部会長、有田(一)委員、竹島委員、佐藤(茂)委員、三浦委員、日下委員、佐藤(哲)委員 8 人
欠席委員	佐藤(康)委員、此村委員
事務局	高山健康福祉課長、渡辺豊栄地区公民館長、上村教育支援センター所長、近藤地域総務課長補佐、深沢 (地域総務課)
会議要旨	<p>(1) 自治協議会委員提案事業 調査・研究活動</p> <p>○自治協議会だよりでのアンケート項目について 全体会議で報告したアンケート項目の内容について意見交換を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加したい講座の項目に「マージャン」を入れるといいと思う。 <p>○今後のスケジュール(予定)について以下の様に進めることとなった。</p> <p>10 月 事業内容詳細の決定 11 月 新潟医療福祉大学見学 12 月 アンケート結果検討 1 月 防犯・交通安全分野 2 月 振り返り 3 月 事業準備</p> <p>11 月の大学見学の内容について鍼灸センター、図書館、ジムなどの意見がでた。日時は 11 月の本会議終了後として、事務局から調整してもらう。</p> <p>(2) 新潟医療福祉大学との連携講座企画案について 4 つの案について検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康講座と認知症予防講座はひとつにできるのではないか。 ・地域活動の事例発表については、毎年 2 月頃新潟医療福祉大学で似たようなものを開催しているのでそちらに参加してはどうか。 →内容と参加可能かどうかを事務局で確認する。

第 6 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 5 年 9 月 28 日（木曜） 午後 2 時 50 分～午後 4 時 00 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	伊藤委員、小日向委員、飛鳥井委員、有田委員、諏訪委員 寺山委員、坪木委員、小林委員、石山委員
欠席委員	野口委員
事務局 関係課	東理副区長、産業振興課（横木課長）、区民生活課（高野課長）、地域 総務課（佐藤）
会 議 要 旨	<p>1. 視察の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん池、福島潟ともに整備が必要だと感じた（木道、船の乗り場、駐車場など）。しかし、市だけでは難しいので国や県への働き掛けも必要だと思う。知ってもらいたいが、来てがっかりされないようにしなければならない。 ・福島潟の船の体験は、もう少しガイドがあるといい（レンジャーに乗船してもらうなど）。整備して定期的な船の運航ができれば、漁師の方の仕事も増えるし魅力発信になると思う。 ・潟料理は、おいしいが量が多かった。もう少しコンパクトにして、一般の方が食べられる機会を作ってほしい。 ・海辺の森は管理者が意欲的に取り組んでいる（流木でアート作品制作、音楽フェスティバルの開催、週末のキャンプファイヤーなど）ので、応援していきたい。オートキャンプ場やカブトムシハウスなど、もっと知ってもらえるよう PR が必要。 ・海辺の森の松林の復元には、自治協議会の活動で植栽されたものがあることに驚いた。 ・島見浜海水浴場は、海面の上昇により維持できるかが問題になっている。また海の家が 2 つしか残っていない。後継者不足が課題。 ・北区郷土博物館では、学芸員からの説明で、北区の歴史を知ることができて大変良かった。もっと多くの方に来てもらえるように PR が必要。 ・北区郷土博物館は、名称をおしゃれにすると若者が来るのではないか。 <p>2. 次年度事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備の重要性を感じたので、整備に関する事業やあわせて県、国等への働きかけなど。 ・“食べる”に絡めたトークイベントを海辺の森や福島潟を会場に開催。 ・食を味わえるスタンプラリーで実際に来てもらえる仕掛けを作る。 <p>3. 区自治協議会だより掲載の質問事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「区だより・市報にいがた」をタウン情報誌の前にもってくる。 ・自由記載を選択式にして、その他の欄で書ける方には書いてもらう。 <p>【次 回】 次年度提案事業について内容を決めるので、事前に各自案を考えてくる。</p>

